

■ 編集だより

編集後記

精神神経学雑誌のオンラインジャーナルが2014年4月号から配信されている。オンラインジャーナル発刊に関しては、何回かのアンケートで多くの賛成を得ていた。

今回のオンラインジャーナルでは、PCだけでなく、タブレットやスマートフォンでも閲覧でき、過去の雑誌までどこからでも読むことができる。私のように目の遠くなった読者には、字、図、表を拡大できるので紙雑誌より読みやすい。また、PDFでダウンロードすると、紙の雑誌と同様に、マーカーをひいたり、論文の横に自分のコメントを書く機能もある。

また、本誌オンラインジャーナルはXML化されているので、文献検索が容易にできるようになった。論文の末尾の文献一覧から当該の文献にすぐにアクセスできるので、論文を多面的に検討することが容易となる。医学中央雑誌、Medlineとも連携されているので、幅広い検索も可能である。自分の関心領域の文献データベースを作ることも簡便になる。

オンラインジャーナルの使い方に関するアイデアを募集すると、もっと様々な使い方を共有できるかもしれない。

論文ごとの配信が可能となっており、受理論文が雑誌に掲載される前にオンライン上で発表することができるという投稿者の利便性も向上している。

経済的には、印刷費、郵送費が大幅に節約できるというメリットがある。学会の財政は、本来の学会の目的である研修会や委員会活動などが活発に行われるようになり、経常収支が大幅な赤字を示す危険性があり、雑誌の印刷費、郵送費の節減は急務な課題となっていた。この状況を鑑み、2015年1号からはオンラインジャーナルを標準とし、どうしても紙雑誌を必要とする会員のみ郵送すること（紙雑誌のオンデマンド化）を検討している。

電子投稿システムを導入後投稿数が多くなっている。優秀な論文や興味ある特集が掲載することが雑誌の目的であるが、閲覧の利便性が高まることで幅広い論考が投稿されることが期待される。

毎月メールで、目次とともにハイライト論文をお知らせする予定である。本誌オンラインジャーナルもこれまで以上にご最員にしていきたい。

細田真司